

平成30年度

上半期 経営情報 (平成30年9月末現在)

もおしん REPORT 2018

ちかくにいるから、
チカラになれる。

Shinkumi Bank



真岡信用組合

経営情報 (半期情報の開示について)

平成30年度上半期(平成30年4月1日～平成30年9月30日まで)における経営情報をお知らせいたします。

平成30年度上半期の主要勘定は預金積金が前年度末比で 2.13%増の87,788百万円に、貸出金についても 4.87%増の41,798百万円となりました。収益面でも、役職員一丸となって収益向上に努めた結果、当期純利益 61百万円の計上となりました。

自己資本比率は貸出金等の増加によりリスクアセットが増加し前期末より0.31ポイント低下し11.16%となりました。引き続き国内基準の4%を大幅に上回っており、健全な財務内容であります。また、金融再生法開示債権比率は前期末より 0.20ポイント上昇し 4.27%となりましたが、担保や保証、貸倒引当金を計上し、不良債権に対する保全率は 95.0%と資産の健全性は十分に確保されております。

今後も引き続き皆さまに信頼される金融機関としてお取引いただけるよう、経営努力を続けてまいります。

預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

区 分	平成30年9月末	(参考)平成30年3月末
預 金 残 高	87,788	85,957
貸 出 金 残 高	41,798	39,855

損益の状況

(単位:百万円)

区 分	平成30年9月末
業 務 純 益	108
経 常 利 益	83
当 期 純 利 益	61

自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	平成30年9月末	(参考)平成30年3月末
自己資本比率	11.16	11.47

貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業 種 別	平成30年9月末		(参考)平成30年3月末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 業	2,017	4.8	1,828	4.6
農 業、林 業	953	2.3	967	2.4
漁 業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建 設 業	5,868	14.0	5,572	14.0
電気、ガス、熱供給、水道業	1,898	4.5	1,131	2.8
情報通信業	27	0.1	29	0.1
運輸業、郵便業	1,622	3.9	1,700	4.2
卸売業、小売業	2,733	6.5	2,636	6.6
金融業、保険業	307	0.7	309	0.8
不動産業	5,602	13.4	5,527	13.9
物品賃貸業	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	—	—	—	—
宿 泊 業	606	1.5	632	1.6
飲 食 業	433	1.0	425	1.1
生活関連サービス業、娯楽業	—	—	—	—
教育、学習支援業	173	0.4	187	0.5
医 療、福 祉	883	2.1	944	2.4
その他のサービス	3,196	7.6	3,382	8.5
その他の産業	585	1.4	620	1.5
小 計	26,909	64.4	25,896	65.0
国・地方公共団体等	370	0.9	443	1.1
個人(住宅・消費・納税資金等)	14,518	34.7	13,515	33.9
合 計	41,798	100.0	39,855	100.0

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区 分	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	
						平成30年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成30年3月末	1,226	272	953	1,226	100.0
	平成30年9月末	1,233	276	957	1,233	100.0
危険債権	平成30年3月末	178	136	21	157	88.2
	平成30年9月末	420	361	29	391	93.1
要管理債権	平成30年3月末	221	40	17	57	25.8
	平成30年9月末	135	61	14	75	55.6
不良債権計	平成30年3月末	1,626	448	992	1,441	88.6
	平成30年9月末	1,789	699	1,000	1,700	95.0
正常債権	平成30年3月末	38,274				
	平成30年9月末	40,052				
合 計	平成30年3月末	39,900				
	平成30年9月末	41,842				

(注) 平成30年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成30年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。
(平成30年9月末の算出方法)

- 債務者区分については原則として平成30年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している貸出債権の合計です。
- 「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権の合計です。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目 (資産の部)	金 額	
	平成30年9月末	(参考)平成30年3月末
現金	776,168	970,025
預 け 金	44,513,281	41,974,101
買入金銭債権	200,000	100,000
有 価 証 券	24,780,427	25,436,873
国 債	565,140	574,680
地 方 債	1,514,329	2,770,087
社 債	15,483,156	16,112,444
株 式	121,900	121,900
その他の証券	7,095,901	5,857,762
貸 出 金	41,798,688	39,855,276
割引手形	57,851	56,800
手形貸付	3,062,081	3,315,651
証書貸付	37,027,892	34,846,868
当座貸越	1,650,863	1,635,955
その他の資産	448,519	470,177
未決済為替貸	5,570	5,154
全信組連出資金	200,000	200,000
未収収益	135,987	148,477
その他の資産	106,961	116,545
有形固定資産	1,419,007	1,407,184
建 物	800,121	789,025
土 地	474,881	474,881
建設仮勘定	10,227	1,587
その他の有形固定資産	133,775	141,690
無形固定資産	2,952	2,966
その他の無形固定資産	2,952	2,966
債務保証見返	7,474	9,973
貸倒引当金	△ 1,058,020	△ 1,049,161
(うち個別貸倒引当金)	(△986,503)	(△974,837)
資産の部合計	112,888,499	109,177,417

科 目 (負債の部)	金 額	
	平成30年9月末	(参考)平成30年3月末
預 金 積 金	87,788,633	85,957,677
当 座 預 金	71,326	143,295
普 通 預 金	27,851,819	25,804,779
貯 蓄 預 金	180,246	174,907
通 知 預 金	71,697	37,473
定 期 預 金	51,998,813	52,678,070
定 期 積 金	7,362,000	7,078,778
その他の預金	252,729	40,372
借 用 金	19,200,000	17,200,000
当 座 借 越	19,200,000	17,200,000
その他の負債	131,599	111,905
未決済為替借	20,039	14,391
未払費用	32,094	41,751
給付補填備金	13,529	11,309
未払法人税等	20,292	971
前 受 収 益	15,531	13,007
払戻未済金	—	197
職員預り金	17,516	18,215
その他の負債	12,594	12,061
賞与引当金	47,156	43,417
退職給付引当金	85,096	86,469
役員退職慰労引当金	59,935	56,086
偶発損失引当金	1,611	4,693
睡眠預金払戻損失引当金	285	4,263
繰延税金負債	19,918	71,723
債務保証	7,474	9,973
負債の部合計	107,341,711	103,546,210
(純資産の部)		
出 資 金	556,109	555,286
普 通 出 資 金	556,109	555,286
利 益 剰 余 金	4,857,057	4,806,809
利 益 準 備 金	555,286	554,065
その他利益剰余金	4,301,770	4,252,744
特別積立金	4,065,000	3,915,000
当期末処分剰余金	236,770	337,744
組合員勘定合計	5,413,166	5,362,096
その他有価証券評価差額金	133,622	269,111
評価・換算差額等合計	133,622	269,111
純資産の部合計	5,546,788	5,631,207
負債及び純資産の部合計	112,888,499	109,177,417

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成30年9月末	(参考)平成30年3月末
経常収益	638,959	1,229,220
資金運用収益	505,809	1,021,915
貸出金利息	357,462	712,667
預け金利息	38,911	81,958
有価証券利息配当金	101,183	219,288
その他の受入利息	8,251	8,000
役務取引等収益	23,415	54,099
受入為替手数料	9,973	20,248
その他の役務収益	13,442	33,851
その他業務収益	102,585	134,641
国債等債券売却益	102,584	131,940
その他の業務収益	1	2,701
その他経常収益	7,148	18,564
償却債権取立益	88	776
その他の経常収益	7,060	17,788
経常費用	555,919	1,082,971
資金調達費用	15,154	31,871
預金利息	11,995	25,485
給付補填備金繰入額	3,033	6,155
借入金利息	37	—
その他の支払利息	88	230
役務取引等費用	46,357	89,350
支払為替手数料	5,710	11,112
その他の役務費用	40,646	78,237
その他業務費用	0	1,569
国債等債券売却損	0	120
国債等債券償還損	—	1,444
その他の業務費用	0	4
経費	464,108	939,362
人件費	283,475	600,309
物件費	166,500	320,910
税金	14,133	18,143
その他経常費用	30,297	20,817
貸倒引当金繰入額	8,858	12,955
株式等償却	—	0
その他の経常費用	21,438	7,861
経常利益	83,040	146,249

科 目	平成30年9月末	(参考)平成30年3月末
特別利益	1,372	13,818
固定資産処分益	—	13,188
その他の特別利益	1,372	629
特別損失	37	13,660
固定資産処分損	0	13,440
その他の特別損失	37	219
税引前当期純利益	84,375	146,406
法人税・住民税及び事業税	23,038	971
法人税等調整額	—	△ 4,343
法人税等合計	23,038	△ 3,372
当期純利益	61,336	149,778
繰越金(当期首残高)	175,433	187,966
当期末処分剰余金	236,770	337,744

アウトライアー基準 金利リスク量

(単位:百万円)

区 分	運用勘定		区 分	調達勘定	
	平成30年9月末	(参考)平成30年3月末		平成30年9月末	(参考)平成30年3月末
貸出金	167	162	定期性預金	93	99
有価証券	456	459	要求払預金	76	71
預け金	203	209	その他	11	8
その他	2	1	調達勘定計	180	179
運用勘定計	829	832			
銀行勘定の金利リスク量	648	653			
アウトライアー比率	11.949%	12.041%			

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

有価証券の時価等情報

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

項 目	平成30年9月末			(参考)平成30年3月末		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	社 債	100	100	0	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—
	小 計	100	100	0	—	—
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	社 債	—	—	—	—	—
	そ の 他	1,300	1,273	△ 26	—	—
	小 計	1,300	1,273	△ 26	—	—
合 計	1,400	1,373	△ 26	—	—	—

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 「社債」は事業債です。
3. 上記の「その他」は外国証券です。

その他有価証券

(単位:百万円)

項 目	平成30年9月末			(参考)平成30年3月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—
	債 券	12,137	11,853	283	15,896	15,455
	国 債	—	—	—	—	—
	地方債	1,514	1,473	41	2,770	2,674
	社 債	10,623	10,380	242	13,126	12,780
	そ の 他	2,525	2,452	72	3,771	3,702
小 計	14,662	14,305	356	19,667	19,157	509
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	121	121	—	121	121
	債 券	5,325	5,400	△ 75	3,560	3,600
	国 債	565	603	△ 38	574	604
	地方債	—	—	—	—	—
	社 債	4,760	4,796	△ 36	2,986	2,996
	そ の 他	3,270	3,367	△ 96	2,086	2,185
小 計	8,717	8,889	△ 171	5,769	5,907	△ 137
合 計	23,380	23,195	184	25,436	25,064	372

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 「社債」には政府保証債、公社公団債、事業債が含まれます。
3. 上記の「その他」は外国証券と投資信託等です。

「経営者保証に関するガイドライン」への対応

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借り入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応する態勢を整備しています。経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。また、どのような改善を図れば経営者保証の解除の可能性が高まるかなどを具体的に説明し、経営改善支援を行っています。

●「経営者保証に関するガイドライン」の活用に係る取り組み事例(平成30年度上期)

1. 主債務者及び保証人の状況、事案の背景等	
事例①	卸売業者から代表者保証の免除申請がありました。同社の経営状況は安定推移しており、経営は個人、法人が明確に分離されています。
事例②	小売業者から経営者保証なしでの融資申し込みがありました。同社の財務内容は良好で、経営も個人、法人が明確に分離されています。
2. 取り組み内容	
事例①	一昨年度から限度額を設け、その範囲内で代表者保証を徴求せず融資に応じています。今期も経営状態に大きな変化がなかったことから、無保証人での融資申し込みに応じました。
事例②	同社の財務内容、収益力、返済能力等を検討し、今回の申込金額が比較的少額であったことから、申し出に応じ無保証人で融資しました。

●「経営者保証に関するガイドライン」の取り組み状況

	平成30年度上期
新規に無保証で融資した件数	2件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	0.27%
保証契約を解除した件数	0件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当組合をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件

地域の活性化に関する取り組み状況

「ものづくり企業展示・商談会2018」の共催、「2018しんくみ食のビジネスマッチング展」の協賛により取引先への参加活動を行っています。また、平成25年9月、今後成長が見込まれる農林漁業の6次産業化へ取り組む「とちまる6次産業化成長応援ファンド」が設立され、構成機関として参加いたしました。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

地域貢献

文化的・社会的貢献に関する活動

● 地域イベントへの参加

平成30年8月18日(土)に開催された「もおか木綿踊り」に第一勧業信用組合様から役職員5名の方が応援に駆け付けていただき、総勢82名で元気に踊りに参加しました。審査の結果、名誉ある「最優秀団体賞」をいただきました。また各店でも地域行事に積極的に参加し、地域の皆様とのふれあいの輪を広げております。

● 「愛の献血活動」の実施

平成30年9月5日(水)、本店駐車場において献血活動を行いました。当組合職員のほか、近隣住民の方からもご協力をいただきました。

● 「振り込め詐欺等撲滅キャンペーン」の実施

平成30年9月1日(土)、真岡市、益子町、芳賀町のスーパー等において地元警察官(真岡警察署生活安全課や交番)の方と協力し、「振り込め詐欺等撲滅キャンペーン」のチラシを配布し、注意を呼びかけました。今後も被害を防ぐように、お客さまへの声掛けを実施してまいります。

● 「しんくみピーターバンクカード」の寄付金を寄付

平成30年9月3日(月)、当組合と那須信用組合、全国信用協同組合連合会、(株)オリエントコーポレーション、栃木県信用組合協会の5団体の協力で、社会福祉法人あかつき寮(児童養護施設)に「しんくみピーターバンクカード」の寄付金12万円を寄付しました。

預金を通じた地域貢献

既存の預金商品のほか、下記の商品をご用意しております。

● もおしん「年金定期預金」

もおしんで年金をお受け取りの方、年金受け取りをご予約の方専用の定期預金です。



融資を通じた地域貢献

中小事業者および地域の皆さまの資金ニーズに円滑にお応えするために、各種ローンをご用意しております。

● 職域提携企業向けローン

当組合と職域サポート契約をさせていただいた企業・事務所等にお勤めの皆様へ優遇サービスを提供する取組みです。



● もおしん教育カードローン

入学金や授業料のお支払い等、お子さまの教育資金のサポートをいたします。在学期間中は必要な時に必要な分だけお借入いただけます。ご融資金額は最高500万円まで、カードで出し入れでき大変便利です。



トピックス

● 栃木県信用組合協会の研修事業として那須信用組合様と「合同貸出FS(フィールドセールス)」を実施しました。

平成30年5月23日(水)には那須信用組合様で、9月21日(金)には当方で実施いたしました。FS活動は事前に100先とのアポイントを取り2人1組で事業所を訪問し、当組合の取組をお客様に紹介したり、お客様が抱える課題等を情報収集し解決したり情報提供する活動です。ご訪問させていただいた事業所の皆様、貴重な機会を与えていただき、ありがとうございます。

● 「個人型確定拠出年金(iDeCo)」の取扱いを開始しました。

個人型確定拠出年金(iDeCo)は毎月の掛金を自分自身で運用しながら積み立てていき、原則60歳以降に受け取るしくみとなっています。毎月いくら積み立てるのか、どのように運用するのか、どのように受け取るのか、すべて自分自身で決めることができる制度です。



店舗一覧表

金融機関コード：2122

店舗コード	店名	住 所	電話番号	FAX番号	ATM
002	本店 営業部	〒321-4361 栃木県真岡市並木町1-13-1	0285-82-3401	0285-84-7007	2台
003	益子支店	〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子1711-4	0285-72-3221	0285-72-4571	2台
004	七井支店	〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢19-1	0285-72-2503	0285-72-6615	2台
005	芳賀支店	〒321-3307 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井南3-8-1	028-677-0138	028-677-3934	2台
006	長田支店	〒321-4364 栃木県真岡市長田2-16-5	0285-82-6311	0285-82-6882	1台
007	荒町支店	〒321-4305 栃木県真岡市荒町1080-1	0285-85-0800	0285-85-0805	2台

※益子支店が2020年4月に新築移転予定です。



〒321-4361 栃木県真岡市並木町一丁目13番地1
 TEL：0285-82-3496 FAX：0285-83-5155
 ホームページ：http://www.moka.shinkumi.jp/